様式第二号の八（第八条の四の五関係）

収　受
令和　7.5.28
吹田市 環境保全指導課

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年5月22日

吹田市長　　殿

提出者

住所　大阪市都島区片町１丁目3番４号

氏名　株式会社　中道組

代表取締役　中道　正伸

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　06-6352-4771

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社　中道組（吹田市管轄内事業場）
事業場の所在地	吹田市管轄区域内
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	06　総合工事業
②事業の規模	70億6347万円（令和6年度実績）
③従業員数	100名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添１　処理工程図のとおり

（日本産業規格　A列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
別添２　管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	木くず
排　出　量	3,925.200　t	16.250　t

（これまでに実施した取組）
余剰材の引き取り

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	木くず
排　出　量	3,532.680　t	14.625　t

（今後実施する予定の取組）
なし

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
廃棄物の種類ごとに分別している。
石綿含有物においても実施をしている。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
なし

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）
420.040 t	7.450 t	192.000 t	21.580 t

②計画

コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）
378.036 t	6.705 t	172.800 t	19.422 t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	―	―
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	― t	― t

（これまでに実施した取組）

なし

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	―	―
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	― t	― t

（今後実施する予定の取組）

なし

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	―	―
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	― t	― t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	― t	― t

（これまでに実施した取組）

なし

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	―	―
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	― t	― t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	― t	― t

（今後実施する予定の取組）

なし

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

—	—	—	—
— t	— t	— t	— t

②計画

—	—	—	—
— t	— t	— t	— t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

—	—	—	—
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t

②計画

—	—	—	—
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	―	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	― t	t

（これまでに実施した取組）
なし

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	―	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	― t	t

（今後実施する予定の取組）
なし

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	木くず
全処理委託量	3,925.200 t	16.250 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t
再生利用業者への処理委託量	3,925.200 t	16.250 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t

（これまでに実施した取組）
産業廃棄物を委託できる業者を選定し書面による契約を実施している。
電子契約も取り入れている。
再生利用が可能である廃棄物については、再生利用業者へ処理委託する。

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）
420.040 t	7.450 t	192.000 t	21.580 t
0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
420.040 t	7.450 t	192.000 t	0.000 t
0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	木くず
全処理委託量	3,532.680 t	14.625 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t
再生利用業者への処理委託量	3,532.680 t	14.625 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t

（今後実施する予定の取組）

なし

※事務処理欄

②計画

コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）
378.036 t	6.705 t	172.800 t	19.422 t
0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
378.036 t	6.705 t	172.800 t	0.000 t
0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月30日までに提出すること。

3　当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了　するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

別添１ 処理工程図

解体工事

がれき類（コンクリート塊）→再生処理業者に委託して、再生砕石としてがれき再資源化

木くず→チップ（合成、燃料）として再資源化

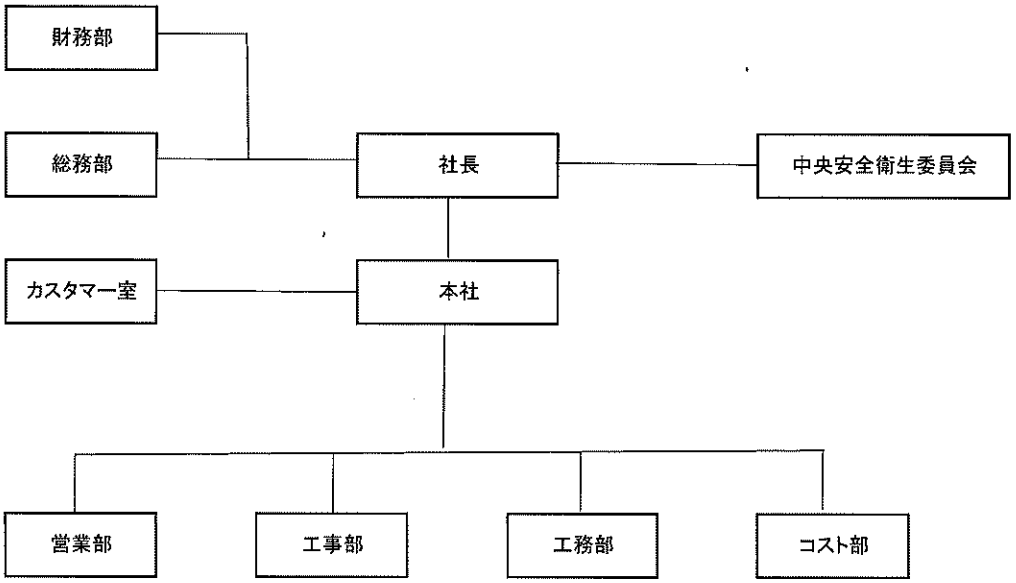
建設混合廃棄物→管理型埋立

道路建設工事（舗装工事）

がれき類（アスファルト・コンクリート塊）→再生業者に委託して、再生骨材として再資源化

建設混合廃棄物→管理型埋立

別添２ 管理体制図



工務部
委託契約書、マニフェストの管理
交付状況報告、多量廃棄物等、行政報告
電子マニフェスト、電子委託システムを利用している。